

## 令和5年度第5回岐阜市総合教育会議 意見

岐阜市教育委員会委員 横山 正樹

・私は令和の日本型教育が目指すところの「すべての子どもたちの可能性を引き出す」ことに着目し、岐阜市の教育において追究すべきと考えています。

・一人ひとりの子どもの成長のテンポは皆違います。何事もテンポ良くこなせる子どもいればじっくりと取り組む子、一生懸命にやっているのになかなか成果の出せない子などさまざまです。そして走り切る(人生の)道のり、距離も一人ひとり違います。

当然一人ひとりの子どもが持つ可能性にも違いがあります。大事なことは子ども自身が自分の可能性を知る「きっかけ」をいかに掴むかにあると思います。

・私は子どもたちが他者との比較でなく、いろいろな体験の中で自分を知ることが大切であり、この学びの場こそが「ぎふ MIRAI's」と思います。

・一人ひとりの子どもが自分に合ったペースで、ふるさとの本物に触れ、さまざま

まな学びの中で創意工夫をしながら、失敗もしながら、何かを掴む。その「きっかけ」に出会うことこそが自分の可能性を認識し、成長に繋がることになると思います。

・そして同時に自分の生まれ育った地を舞台に活躍する人、そこにある事象など素晴らしい教材に接することは郷土を愛する心を育むことにも繋がります。

・また教師の側からすれば、総合学習の時間という教科横断的な時間での自らの学びを各教科教育にも活かすことによって、教科教育の充実を図ることができます。

・私はこのような子ども、教師の育みが期待できる同事業が各学校で積極的に展開されることを大いに期待しています。それが岐阜市の教育のさらなる発展に繋がると確信しているからです。

・郷里を知り、自らを知る、同事業は岐阜人材の育つ場となるのです。